

# アイフル株式会社

A thick, horizontal yellow brushstroke that spans across the width of the page, positioned below the company name.

**2000年3月期 決算説明会**

*2000/5/11 (THU.)*

# 特徴的改善



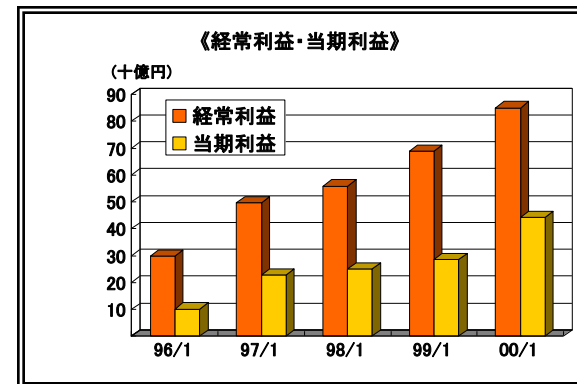
## □ 3つの特徴的改善

- 新規獲得件数の回復
  - 97年3月期以降減少を続けていたが、3年振りに増加
- 貸倒償却の落ち着き
  - 前期までの上昇傾向から、横這いへ転じる
- 調達改善
  - 直接・間接調達ともに、質・量の両面で大幅な改善

# 2000年3月期 実績

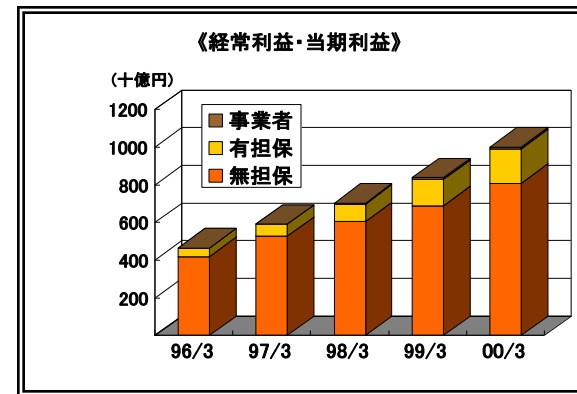
## 利益概況

	99/3期	00/3期	増減率
営業収益	204,957 百万円	238,532 百万円	16.4 %
営業費用	133,059 百万円	151,095 百万円	13.6 %
営業利益	71,897 百万円	87,437 百万円	21.6 %
経常利益	68,843 百万円	85,009 百万円	23.5 %
当期利益	28,448 百万円	44,104 百万円	55.0 %



## 営業概況

	99/3期	00/3期	増減率
ALL	837,981 百万円	1,001,080 百万円	19.5 %
無担保ローン	690,704 百万円	809,361 百万円	17.2 %
有担保ローン	137,755 百万円	181,428 百万円	31.7 %
事業者ローン	9,522 百万円	10,289 百万円	8.1 %



# M & A戦略

- 1999年8月 日本ベネフィット株式会社 買収  
(営業貸付金82億円)
- 2000年3月 ハッピークレジット、スカイ 買収  
(営業貸付金169億円／55億円)
- 2000年4月 信和 買収  
(営業貸付金139億円)

# 業務提携戦略

- 1999年11月 (株)光通信との包括的業務提携に合意
  - 1999年12月 キャッシング機能付き「CLUB HIT」カード発行開始
  - 2000年 2月 インターネット総合サービス「HIT'S ONE」利用料金の支払業務開始
  
- 新しい顧客層の開拓・獲得が可能
- コスト負担を大幅に軽減することが可能
  - 今後とも、より魅力的な提携先との提携を実現する予定

# 2001年3月期 計画(基本方針)

- 2つの大きな転機が訪れる年
  - 金融サービス分野におけるIT技術革新の急速な展開
    - 「電子認証の法制化」により  
インターネットを利用した『金融サービス』のチャネルが多様化
  - 出資法改正による激しい業界再編・淘汰
    - 「出資法上限金利の引き下げ」により
      - － M&Aによる中小業者の淘汰・整理が進む
      - － 他業態からの消費者金融事業への参入
- 他業態の参入も含めた「絶好のチャンス」である

# 政策

## □ 継続重点政策

- 「ブランド・宣伝政策」
- 「商品開発政策」
- 「経費コストダウン政策」

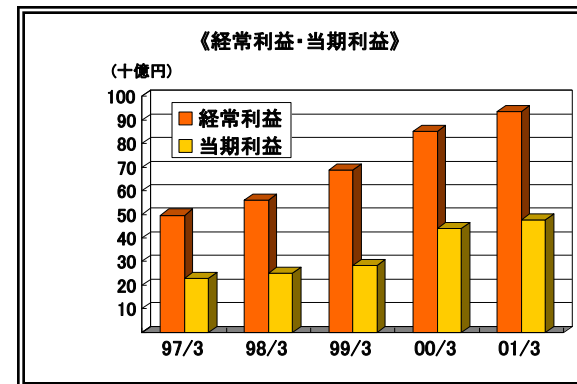
## □ NEW政策

- 「提携・M&A政策」
- 「新規事業政策」(カード、信販、リース、保証)
- 「ネット事業政策」

# 2001年3月期 計画

## 利益関連

	00/3期	01/3期(計画)	増減率
営業収益	238,532 百万円	271,796 百万円	13.9 %
営業費用	151,095 百万円	177,497 百万円	17.5 %
営業利益	87,437 百万円	94,298 百万円	7.8 %
経常利益	85,009 百万円	93,500 百万円	10.0 %
当期利益	44,104 百万円	47,568 百万円	7.9 %



## 営業関連

	00/3期	01/3期(計画)	増減率
ALL	1,001,080 百万円	1,162,488 百万円	16.1 %
無担保ローン	809,361 百万円	913,847 百万円	12.9 %
有担保ローン	181,428 百万円	235,781 百万円	30.0 %
事業者ローン	10,289 百万円	12,859 百万円	25.0 %

